

COPY FOR MEMBERS

To Club Presidents
and Secretaries in
DISTRICT 2790
2010-11

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 4



国際ロータリー会長
Ray Klingensmith

■ガバナー事務所
〒288-0041
銚子市中央町13-2 ヤシオビル3F
TEL 0479-26-3380
FAX 0479-25-6665
E-mail 10-11gov@rid2790.jp
URL <http://www.rid2790.jp>

「平和のこころを育む 米山奨学会」

RI第2790地区

ガバナー

織田吉郎



現在地区内クラブを公式訪問していますが、これまで幾つかのクラブで「留学生と言っても今の時代、お金に困っている人は少ないように思える。果たして支援する意味はあるのだろうか」といった疑問がぶつけられました。

そんな時私は、1952年に東京ロータリークラブが構想した「米山基金」つまり米山奨学会の発足原点に戻って考えてみることを勧めています。そこには戦後復興の只中であって海外から優秀な学生を日本に招きその勉学を支援することで、2度と戦争の悲劇を繰り返さないために国際親善と世界平和に寄与したい！という当時のロータリアンの強い願いがありました。

「ロータリー米山記念奨学会史」には次のように書かれています。「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるにはアジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて平和を肌で感じてもらうしかない。それこそが日本のロータリーに最も相応しい国際奉仕事業ではなかろうか」と。

米山記念奨学会は「平和日本」を世界に理解してもらうことを原点としているのです。だとすると今の時代でもこの奨学金支援は大きな意味を持ちます。私達の奨学金は単に「お金」支援ではなく「平和のこころ」を育む国際奉仕事業なのです。

もうひとつ米山記念奨学制度には素晴らしいところがあります。それはカウンセラー制度です。奨学金支援にとどまらず、ロータリアンとの深い交流と精神的ケアを重視することで、留学生の留学生活がこころ豊かなものになるよう配慮しています。9月12日の奨学生・カウンセラー交流会も会場全体が暖かな家族的雰囲気にも包まれていました。

各クラブカウンセラーの皆様の御努力で素晴らしい成果をあげていることを実感致しました。

スタイル（様式）を磨こう

私が小学校高学年の夏休みに自宅を増築したことがあります。栃木からやってきた棟梁は2人の10代と思しき弟子を連れてきましたが、その指導の厳しいこと。私は子供心にきつとあの2人は明日は来ないだろうとひやひやしながら見ていました。しかし家の工事が終わるまで2人は頑張り通しました。今にして思えば、あの2人の弟子は厳しく棟梁にしつけられることで、叱責に耐えながら辛抱し続けていればいずれ自分が棟梁となり、地元で「ひとかどの人物」として評価され、信頼を得るようになることを知っていたように考えられるのです。こうした環境では自ずと「職業倫理」や「職業道徳」が育ちます。客を喜ばせ、満足させるという「商売の理想」を追究することが個々人の職業に対する誇りを支えていたのでしょう。

ところが1960年代以降、高度成長を機に「1億総中流」と呼ばれる大衆社会に突入しました。それまでの階級社会は崩れ国民のほとんどが「一般大衆」としてひとくくりにされる世の中になったのです。そこでは仕事はいつしかただの「給料を稼ぐ手段」となっていました。職人の世界でも徒弟制度は影を潜め、大工志望の若者は工業高校へ進学するようになりました。しかしそこが職人の誇りを培う場となっているかどうかはなほ疑問です。私は建築設計の仕事をしていますが、現場で感じるのは今の職人さん達が自分の立ち位置を見失い仕事への誇りが見えなくなっていることです。

しかしこれは建築現場に限ったことではありません。多かれ少なかれ私たちの職業の周辺はいつでも職業を「自己実現の現場」あるいは「誇り」とする考え方から「生きてゆく為の手段」とする考え方に比重を移しつつあるように思えてなりません。

私達は今、自分の職業に誇りを取り戻し次なる世代にその誇りを受け継いでゆかねばならない、そしてその具体的な実践方法が職業倫理の高揚、つまり職業奉仕なのだと思うの

です。

「職業奉仕は“職業を通じて社会に奉仕する”ということだから、私は常に顧客のニーズを求め、それに応えるよう一所懸命努力しています。だから私の職業が世の中の為になっていないはずはないのです。職業奉仕はロータリアンにとっては言わばあたり前のことなんです」と言う人がいます。しかしその程度のレベルなら職業人の全てが特に努力することもなく既に持っているものです。

ポール・ハリスは次のように言っています。「職業奉仕とはただ単に資本の論理、法の規制に従って正しく事を運ぶというだけでは不十分で、法以上の高次元にある道徳律に従おうということなのである。法律以前既に古くから全ての人の心の中に自然発生的に道徳観として存在しているものであり、その源泉は良心に求められる。それは誰かとの契約によるものではなくまた誰からも強制されたものではない。」

“事業を営む上で法を遵守し、従業員とその家族の生活を養う…”確かにそれで世の中のお役に立ってはいます。しかしそれでロータリーの言う職業奉仕がすんだわけではないのです。それは職業奉仕へのスタートラインに立ったに過ぎないのです。ロータリーはそういう職業人に対してさらに一層高い精神的境地を職業生活に持ち込んで育ててほしいと言っているのです。

一生かかっても辿りつけない境地、それを求めてゆくのですから職業奉仕は深遠を究めます。佐藤千寿PDGはロータリーを学校に例えました。「この学校には入学はあっても卒業ということがありません。そこがこの学校の素晴らしいところで、あなたはロータリーを学ぶにしたがって楽しくなり、ロータリーの道の無限であることを知るに至るでしょう。最高善を目指しながら常に次善にとどまるのが人間の宿命である限り、人生の学校に卒業はないのが道理です」と。



職業奉仕月間にあたり

職業奉仕委員会 委員長

パストガバナー 土屋 亮平

国際ロータリー第2790地区内の各ロータリークラブの会長様並びに幹事様におかれましては、日夜クラブ運営にご尽力頂いておりますことに衷心より敬意を申し上げます。

さてご案内の如く、10月は職業奉仕月間でございます。勿論職業奉仕はロータリーの基本中の基本であり、凡てのロータリアンが終始励まなければならないことではありますが、特に月間の為の一層の啓蒙活動や職業奉仕の講演などの企画を実施して戴き、より一層に会員皆様が職業奉仕への関心を高められることを期待致します。

織田ガバナーはクリンギンスミスRI会長の長期計画優先事項に則り「職業倫理の高揚が日本のロータリーの危機を脱する手法」と論破されて居られます。日増しに大きく様変わりするロータリーの基盤、複雑化を増すRIの方針に対して各クラブが独自の判断で、是々非々の対応が可能な固有の『物差し』の必要性を訴えてこられました。その対応策として、理論的、論理的な色彩の濃いクラブの職業奉仕委員会に敢えて、『クラブ研修委員会』を設けることを要請されたのです。先ず、クラブ研修委員の皆さんに織田ガバナーの意図するところをお伝え頂き、より一層のご協力をお願い致します。

そもそも職業奉仕の特徴として、個人的であり且つ精神的要素が多いので、抽象的になりがちです。出来る限り抽象的な贅肉を省き、簡易に明快に理論構成を致しましょう。

ロータリーの5大奉仕部門の内、職業奉仕を除く4つの委員会（クラブ奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕）はクラブの行う奉仕と会員個人が行う奉仕が同一でありますので分かりやすいのですが、職業奉仕だけは特別であります。クラブの職業奉仕委員会が行う任務と会員個人が実践する職業奉仕を混同して考えると分かり難くなってしまいます。会員が行う職業奉仕とは、自分の職業に対し何かを奉仕するものではありません。会員各自が自分の職業の質を高めること、道徳心

の高揚を諮ること、これを会員個人ばかりでなく、会員各自の職場に反映させることが基本であります。より端的に表現すれば、職業とは自分を社会に役立たせる『責任』もありますし、自分の役割を守る『義務』も当然に生じます。その結果自分の職業が自分の糧をえる『手段』となり得るのです。即ち、自己の職業の倫理的質を高める、公私共に道徳心の高揚を諮ることが、お客様に対して誠実であり、勤勉であり、忠実であることの報いが与えられると言う図式であります。ロータリー的に言わせて貰えば、ロータリーの『奉仕の精神』を遺憾なく発揮させることで在り、『One Profits Most Who Serves Best 最もよく奉仕する者、最も多く報いられる』は当然の結果と言えましょう。各ロータリアンが自己の事業に自信と誇りを持って臨めば、その結果は当然に事業は繁栄が約束されることに尽きます。

あの有名な決議23-34号議案の時のガイ・ガンディカー元RI会長も「奉仕の実践を行わんとする者は、先ず自分が受益者でなければならない」と述べて居られます。即ち、各自の職業を繁栄させる最良の秘訣は、職業奉仕の実践にあります。尚、この職業奉仕の精神を自分の職場は勿論のこと、クラブの会員、同業者、異業者の範囲まで拡大発展させることがロータリアンの責務であり、あくまでも個人が主体であります。

では職業奉仕委員会とは申しますと、職業奉仕委員会が会員個人々の職業の質を高めることや道徳心の高揚させることなど不可能であります。

因って、クラブの職業奉仕委員会の任務はと言いますと、会員の職業奉仕の実績の点検を諮り、優れた点を例会で公表するとか、表彰することで職業倫理を鼓舞することも考えられます。又間接的ではありますが会員に対して、個々の会員に自己研鑽を啓蒙したり、勉強会を開催して一層会員の質の向上を諮ることが任務であります。どうぞ、各クラブの皆様の創意工夫により、より一層の成果をご期待致します。



目標づくりの第一歩 “できることから始めよう！”

「10月米山月間に因んで」

米山記念奨学会委員会

委員長 中村 俊 人

2790地区の皆様、私は今年度 米山記念奨学会委員長を務めることになりました、中村でございます。宜しくお願い申し上げます。

私たち米山記念奨学会委員会といたしましては、日頃の皆様のご支援をして頂いている寄付金により、多くの米山奨学生に奨学金として援助できる事に、ロータリアンの皆様に大変感謝申し上げます。米山奨学生の申込みには、指定校から推薦されました、優秀な学生の皆さんが、各大学内に於きましても選考され推薦をされてまいります、この学生の皆さんの応募の中で、この米山記念奨学会の奨学生制度は、全国各奨学金制度がある中で最大の特徴といたしまして、お世話をして頂けるロータリークラブがあり、必ず奨学生にカウンセラーとしてロータリアンが付いて御世話して頂けるということです。世話クラブの皆さんの温かい歓迎を受け、カウンセラーの、親代わりとしての温かい気持ちをサポートして頂けることは、他の奨学金制度にはありません。2010年度の米山奨学生の採用に関しては800人が承認されましたが、この2790地区に於きましても、今年度新規奨学生20名と継続学生3名を含め、23名にロータリアンの貴重な奨学金をお渡ししています。次年度に於きましては、25名の奨学生が決定致しました。米山奨学生は、学業・人物とも優秀で、将来、国際社会で活躍する留学生の支援をしている中で、応募する学生の皆さんへ求められる事は、学業はもちろんの事、異文化の理解と、コミュニケーション能力を最も求められます。お世話になるロータリアンの皆様との交流の中から、ロータリー精神を学び、将来国際社会へ、または、母国に帰ってからそれぞれの分野で貢献できると判断された方たちです。

その為には、地区開催の奉仕活動や研修会などへも積極的に参加し、例会への参加などによって、日本の文化を理解するよう努めながら、多くのことを学んでほしいと常々奨学生へお伝えしております。

2010年度に於きましては、“できることから始めよう”のテーマを掲げまして、10月の米山月間時には奨学生を受けて頂ける機会が少ないクラブに、できるだけ奨学生共々クラブ訪問し、卓話などを通じてふれあいを持って頂きたいと考えまして、例年のように各クラブに卓話依頼の希望を募り訪問をさせて頂きまして、その中で米山奨学金基金へのご理解をして頂き、ロータリアンの皆様に少しでも多く寄付へのご協力をして頂けるようお願いをしたいと考えております。

また、今年度の8月28日に開催予定をしています、

米山記念奨学会委員会セミナー時に於きましても、日本で奨学生として援助して頂いた学生が、母国へ帰って女性たちへの自立を願っての色々な事業をしながら奉仕活動なども含めながら活躍しています。その学友のお話しや、日本で活躍をしています学友の皆さんが中心となりながら東京米山友愛ロータリークラブが創立されました。

その創立に於いて中心的役割を担っている学友の皆さんの活躍等も含めましてその学友の卓話をして頂き、その努力とサポートして頂いたロータリアンの皆様との交流も含め、是非ご参加して頂いたロータリアンの皆さんにお聞き頂き、自クラブへお伝え願えたらと計画を致しました。

日本で米山奨学生として援助して頂いた、学友の皆様が活躍していることをお伝えすることができましたら、ロータリーの皆様にも学友の皆さんが頑張っている状況もご理解して頂けるのではないかと、そして米山記念奨学事業に対しましてさらに皆様のご協力を少しでも多く頂ける事をお願い出来たらと考えています。

また今後に於きましても、世話クラブとしてお世話頂きました皆様に、第2790地区の学友会の活動を少しでも活性化し、学友として地区から巣立った奨学生の皆様に対しましてお世話して頂いたロータリアン交流を多くできればと考え動きはじめました。活性化をする為には、地区内の大学から多く奨学生としてお世話になっています大学から、学友会として活動をする為に準備委員を推薦頂き、私たち地区委員会の皆さんも含めて努力していく予定でございますので、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

今年度は、税制上に於きまして優遇処置がますます拡大し、年間2,000円以上（これまでは5,000円）の寄付でメリットがあります。

また、すでに「ロータリーの友」にも書いておりますが、これまで免税領収書が出せなかった普通寄付金にも領収書が出せるようになりました。

（但し、クラブ事務局からのExcelデータの提出が必要ですが）普通寄付金と特別寄付金の合計金額で確定申告ができます。

今年度の新しい「豆辞典」にも掲載されております。

現在、このような日本の経済状況の苦しい中に於きましても、ぜひ各クラブの皆様にご理解を頂きまして、素晴らしい奨学生に対しましてご支援をして頂けますよう宜しくお願い申し上げます。



米 山 学 友

奨学金・学友小委員会
委員長 矢崎 康 男

（財）ロータリー米山記念奨学会は、日本の全ロータリー地区が参加して外国人留学生を年間800人採用して奨学金を支給し、支援する国内最大の民間奨学事業を行っています。今までに支援した奨学生は累計1万5776人で、出身国は世界119の国と地域です。奨学生一人ひとりに奨学金による経済的支援だけでなく、地域のロータリークラブから世話クラブが選ばれロータリーとの交流の起点となります。世話クラブから選ばれたカウンセラーは日常の相談役となり、奨学生の留学生生活を精神面で支えます。この制度こそが留学生にかけがえのない経験となり同時にロータリアンにとっても米山奨学事業の意義を実感し、理解を深める機会となっています。

奨学事業はロータリーの理想とする国際理解と親善が目的です。ロータリーの精神に触れ、心を育んだ「米山学友」と呼ばれる元奨学生は今、母国で、日本で、世界で活躍しています。元奨学生を中心に組織される「米山学友会」は海外を含め33あり、奨学期間後もロータリーとの交流を深めています。

第2790地区米山奨学会委員会は本年度学友会会長に新たに郭東潤氏（千葉大学、大学院助教授）を迎え、ロータリアンと学友の友情を深め、地区学友会の活性化を目指しています。これからの学友の活躍にご注目下さい。



米山月間に因んで

寄付金小委員会
委員長 山本 康 昭

今は亡きロータリーの大先輩に「山本君、ロータリーの活動の中で最も貴重な活動は発展途上国の学生への奨学金制度だと私は考えている」と言われたのを今でも記憶し、私はその後米山記念奨学会の活動に関心を寄せてきました。

ここ数年ガバナーより、会員1人当たり年間15,000円の寄付を目標に活動を展開してきましたが、2009～10年度は寄付金総額約13億2,700万円、前年度比で11.2%減、約1億6,700万円の減少、予算14億5,000万円に対しても達成率は91.5%（1億2,300万円減）に止まりました。2790地区では合計約4,089万円、1人当たり寄付額は14,422円で、最高寄付額4万円を超えるクラブから4千円に満たないクラブまで様々となっています。

どうしてこんなに差が出てしまうのかと推察してみますと、かつて奨学生を受け入れた経験のあるクラブと、今まで奨学生との接点が無く、従って米山記念奨学会の活動に興味を沸かさないクラブとの差ではないでしょうか。

大学院生で月額14万円の返済不要の補助が受けられるかどうかは、留学生にとっては天と地ほどの違いがあり、勉学に専念できる感謝の気持を満面に浮かべた留学生の姿を知れば、おのずから寄付金も集まり易いと思います。

地理的な条件等で受け入れるのが困難なクラブもありましょうが、米山月間にかかわらず、お声掛け頂ければ留学生を貴クラブに訪問させ、直に接して実態を理解して頂きますので、委員会にお気軽にお声掛け下さい。

現在全国で800名、当地区で25名の留学生を支援しておりますが、予算不足で減員となることが無いよう、今一層のご協力をお願いいたします。



2013-2014年度 ガバナー候補者指名について

国際ロータリー第2790地区
 ガバナー 織田 吉郎
 地区指名委員会 委員長 山中 義忠



関口 徳雄君
 (浦安RC)

ガバナー月信第2号(8月1日発行)にて要請いたしました「2013-2014年度ガバナー候補者の推薦」の件ですが、指名委員会は、国際ロータリー細則第13条13.020.4項の規定により、慎重に審議の結果、関口徳雄君を国際ロータリー第2790地区2010-2011年度ガバナー・ノミネー(2013-2014年度ガバナー)候補として、指名しましたのでお知らせいたします。

各ロータリークラブは、上記の地区指名委員会の決定に関係なく、独自のガバナー・ノミネー候補者がいる場合、10月20日(水)までに織田ガバナー宛に書面で提出されますようお願い致します。

略 歴

氏 名 関口 徳雄 (せきぐち とくお)
 生年月日 1944年(昭和19年)3月29日(満66歳)
 自宅住所 〒272-0145 市川市島尻4-9
 自宅電話 047-357-5564
 事業所 関口徳雄法律事務所
 事業所住所 〒104-0061 東京都中央区銀座4-13-15-4F
 事業所電話 03-5565-4004
 所属クラブ 浦安ロータリークラブ
 職業分類 弁護士
 最終学歴 中央大学法学部法律学科

ロータリー歴

1981年2月 浦安ロータリークラブ創立会員として入会 在籍29年
 1987-88年度 幹事
 1994-95年度 会長
 2005-06年度 第1分区ガバナー補佐
 ボール・ハリス・フェロー
 マルチプル・フェロー
 ベネファクター
 米山功労者
 2010-11年度 地区野球リーグ会長

行 事 予 定 (10月)

2日(土)	野田セントラルRC 創立20周年記念式典	
4日(月)	地区大会記念ゴルフ大会	レインボーヒルズカントリークラブ
5日(金)	社会奉仕委員会 第2回委員会	フローラ西船 18:00~20:30
6日(水)	ロータリー財団委員会 第4回委員会	ペリエホール 18:00~
7日(木)	ロータリー情報研究会・第10分区	クレストホテル柏
9日(土)	2011-12年度第1回ガバナー補佐会議	
10日(日)	WCS委員会 第2回委員会	
13日(水)	ロータリー情報研究会・第11分区	ペリエホール 14:00~16:00
15日(金)	ロータリー情報研究会・第12分区	松戸商工会議所 14:00~17:30
16日(土)	第9回ガバナー補佐会議	京葉銀行文化プラザ 15:00~17:00
18日(月)	ロータリー情報研究会・第4分区	ホテル千成 15:00~
24日(日)	ロータリー情報研究会・第8分区	佐原商工会議所4階 13:30~
26日(火)	ロータリー情報研究会・第6分区	東金文化会館 13:00~

文 庫 通 信 (276号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

～ 地区大会報告書 より ～

- ◎「運命とロータリーの未来」 ビチャイ・ラタクル 2010 12p (D.2670)
- ◎「よきロータリアン 指導者としてのロータリアン」 渡辺好政 2010 14p (D.2710)
- ◎「ロータリー財団」 北 清治 2010 5p (D.2560)
- ◎ロータリーの原点を知る『決議23-34号』-パネル・ディスカッション 安孫子貞夫 他 2010 13p (D.2800)
- ◎「世界と高知 会員の状況」 杉谷卓紀 2010 5p (D.2670)
- ◎「江戸時代の日本に学ぶもの」 徳川恒孝 2010 5p (D.2560)
- ◎「これからの日本」 小泉純一郎 2010 9p (D.2630)
- ◎「落語でお伊勢参り」 桂 文我 2010 6p (D.2630)

— [上記申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)] —

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F TEL: 03-3433-6456 FAX: 03-3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp/>
 開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付

年次寄付 (ポール・ハリス・フェロー)

氏名	クラブ名
杉山 芳夫	習志野 RC

年次寄付 (マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)

氏名	クラブ名	回数
崎山 征雄	習志野中央 RC	10回目
三代川 利男	習志野中央 RC	7回目
増田 彰司	習志野 RC	4回目
石井 賢徳	習志野 RC	4回目
宮崎 清輝	習志野中央 RC	3回目
小林 通成	習志野 RC	3回目
椎名 博信	習志野 RC	2回目
池田 博	習志野中央 RC	2回目
大木 亨	習志野 RC	1回目
喜久川 登	成田 RC	1回目

米山記念奨学会寄付

氏名	クラブ名	回数
森島 庸吉	船橋西 RC	33回目
四之宮 由己	大網 RC	9回目
細矢 正雄	成田 RC	8回目
鳥飼 三津男	習志野 RC	6回目
崎山 征雄	習志野中央 RC	5回目
清宮 建治	大網 RC	4回目
池田 博	習志野中央 RC	2回目
椎名 博信	習志野 RC	2回目
杉山 芳夫	習志野 RC	2回目
増田 彰司	習志野 RC	2回目
由川 久子	習志野 RC	1回目
石井 賢徳	習志野 RC	1回目
斉藤 幸男	大網 RC	1回目

新ロータリアン (敬称略)



金井 輝
(鴨川RC)
総合病院
7月6日入会



三田 英志
(習志野中央RC)
電気設備業
7月8日入会




中台 昌利
(習志野中央RC)
水道工事
7月8日入会



廣瀬 正彰
(習志野中央RC)
飲食業及び小売業
7月8日入会



中嶋 利生
(柏西RC)
小売業
7月9日入会



小野田 行伸
(成田空港南RC)
食品加工
7月15日入会



山中正 守
(木更津東RC)
商業銀行
7月21日入会



杉山 樹万博
(新千葉RC)
証券業
7月21日入会



荒井 賢二
(茂原中央RC)
サッシ・建築資材販売業
8月3日入会



内田 秀実
(勝浦RC)
保険 信用保険
8月6日入会



勝呂 泰樹
(木更津東RC)
歯科医
8月11日入会



鈴木 幹人
(柏RC)
商業銀行
8月11日入会



篠宮 功
(松戸RC)
電気設備業
8月18日入会



後藤 康一郎
(松戸西RC)
土木工事
8月18日入会




金子 明彦
(茂原RC)
イベントホール
8月19日入会



田辺 勇治
(成田RC)
ガス供給
8月27日入会



度会 一也
(船橋東RC)
歯科医
9月2日入会



高山 練正
(茂原RC)
土木技師
9月9日入会



本郷 雅嗣
(市原RC)
プラント建設
8月4日入会

10月のロータリーレート

86円

物故会員 (敬称略)



亀田 速男 (沼南RC)
逝去日: 2010年8月8日 (享年85歳)
入会日: 1976年2月
ロータリー歴
1984~85 クラブ幹事
1986~87 クラブ会長
1996~97 第10分区代理
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター
米山功労者・マルチプル



金坂 忠利 (茂原RC)
逝去日: 2010年8月20日 (享年72歳)
入会日: 1979年3月
ロータリー歴
1992 ポール・ハリス・フェロー
2001~02 クラブ会長
2001 米山功労者
2004 ベネファクター

ガバナー月信 Vol. 3
9月号の訂正

P 6 茂原ロータリーアクト
提唱クラブ茂原→茂原・茂原東・茂原中央 3
クラブでの提唱です。

国際ロータリー第2790地区（千葉）出席・会員数報告（2010年8月分）

分区	クラブ名	出席率 %	例会数	会員数				
				7/1	女	当月	女	増減
第1分区	市川	100.00	3	48	0	49	0	1
	市川東	96.88	4	42	1	42	1	0
	市川南	72.20	3	17	1	18	1	1
	浦安	87.30	4	41	0	42	0	1
	市川シビック	76.05	4	38	0	38	0	0
	浦安ベイ	85.70	3	21	0	21	0	0
第2分区	船橋	97.83	4	24	0	25	0	1
	船橋西	86.59	3	48	4	46	4	-2
	鎌ヶ谷	84.85	3	25	2	25	2	0
	船橋東	93.63	3	31	5	30	5	-1
	船橋南	88.00	4	25	2	25	2	0
船橋みなと	83.78	4	26	7	26	7	0	
第3分区A	千葉	86.83	4	65	0	68	0	3
	新千葉	98.29	3	47	0	48	0	1
	千葉西	79.33	4	50	5	51	6	1
	千葉中央	86.32	3	37	0	38	0	1
	千葉幕張	89.80	4	32	4	32	4	0
	千葉東	80.50	4	28	3	28	3	0
千葉若潮	78.16	3	30	0	31	0	1	
第3分区B	千葉南	81.20	3	37	4	40	4	3
	市原	87.88	3	43	3	44	3	1
	千葉港	66.56	3	29	0	29	0	0
	市原中央	88.46	4	50	1	52	1	2
	千葉北	76.19	3	22	1	22	1	0
	千葉緑	83.95	3	27	2	27	2	0
第4分区	木更津	87.78	4	41	3	45	4	4
	上総	85.97	3	19	0	19	0	0
	富津	88.27	4	19	1	19	1	0
	富津中央	83.53	3	22	0	20	0	-2
	木更津東	91.39	4	40	0	41	0	1
	君津	94.73	4	39	2	40	2	1
	袖ヶ浦	90.00	4	28	3	28	3	0
富津シティ	64.86	3	19	0	19	0	0	
第5分区	館山	86.99	3	56	4	55	4	-1
	鴨川	83.00	4	27	2	28	2	1
	勝浦	80.62	3	42	8	43	8	1
	千倉	78.40	3	16	1	17	2	1
	鋸南	87.20	3	13	1	13	1	0
館山ベイ	58.34	3	24	0	24	0	0	
第6分区	茂原	83.19	3	58	2	59	2	1
	東金	90.00	4	25	0	25	0	0
大原	86.70	3	15	1	15	1	0	

分区	クラブ名	出席率 %	例会数	会員数				
				7/1	女	当月	女	増減
第6分区	大多喜	61.53	4	13	1	13	1	0
	成田空港南	88.60	3	40	0	41	0	1
	茂原東	82.14	3	28	3	28	3	0
	茂原中央	79.70	4	22	2	23	2	1
	大茂	62.07	3	29	1	29	1	0
第7分区	東金ビュー	69.00	3	26	1	28	2	2
	銚子	90.55	3	44	2	44	2	0
	旭	96.00	3	45	1	46	1	1
第8分区	八日市場	91.00	4	44	2	44	2	0
	銚子東	85.32	4	33	0	33	0	0
第9分区	佐原	82.74	4	45	0	46	0	1
	多古	94.12	4	19	0	19	0	0
	小見川	86.36	3	23	0	22	0	-1
	佐原香取	80.60	4	26	0	26	0	0
第10分区	成田	77.78	3	58	0	59	0	1
	八街	93.07	4	39	1	39	1	0
	印西	79.83	3	28	0	28	0	0
第11分区	白井	67.00	4	15	0	15	0	0
	富里	80.00	4	27	0	27	0	0
	成田コスモポリタン	73.39	4	60	0	62	0	2
	柏	76.00	3	44	9	44	9	0
第12分区	我孫子	86.10	4	26	0	27	0	1
	柏西	89.93	3	51	3	53	3	2
	沼南	88.33	3	23	1	22	1	-1
	柏南	84.10	4	29	3	30	3	1
	習志野	65.33	3	38	1	38	1	0
第13分区	八千代	83.66	3	46	0	48	0	2
	佐倉	64.10	3	13	2	13	2	0
	八千代中央	81.40	4	27	0	27	0	0
	四街道	92.72	5	22	3	22	4	0
	習志野中央	84.12	3	39	6	42	6	3
	佐倉中央	62.90	3	14	1	14	1	0
第14分区	松戸	86.54	4	48	0	53	0	5
	松戸東	95.70	3	53	0	54	0	1
	松戸北	90.30	4	40	0	39	0	-1
	松戸中央	60.43	3	41	2	41	2	0
	松戸西	82.95	4	21	0	22	0	1
第15分区	野田	83.67	4	49	4	49	4	0
	流山	69.36	3	19	4	19	4	0
	野田東	80.21	3	32	0	32	0	0
	流山中央	75.00	4	23	2	23	2	0
野田セントラル	86.67	3	25	0	25	0	0	

クラブ数	84RC	2010年7月1日	地区会員数	2,733人	当月平均出席率	82.96%
		2010年8月末日	地区会員数	2,816人	増減	+43
		2010年7月1日	地区女性会員数	128人	女性会員増減	+5
		2010年8月末日	地区女性会員数	133人		



国際ロータリー 第2790地区 2010-11年度 地区大会のご案内



11/7
(日)

本会議二日目

銚子市青少年文化会館（銚子市前宿町1046番地）



2002-03 RI会長
ピチャイ・ラタクル氏による講演
「奉仕の理想」と「大懇親会」
を開催致します。

タイムスケジュール

- 9 : 30 点鐘
- 10 : 15 ガバナー挨拶
- 12 : 25 J. ソロイスツ「日本の歌」
- 13 : 25 基調講演「奉仕の理想」
- 15 : 30 点鐘
- 15 : 45 大懇親会
- 16 : 50 手に手つないで

※物産展の詳細につきましては、ホームページをご覧ください。